

Inagawa

2026

2.1

No.198



スポーツ楽しんでますか



Topic 01

特集
猪名川町でスポーツを楽しもう

Topic 02

12月定例会で決まったこと
議案の審議結果

特集

猪名川町で スポーツを楽しもう



第429回定例会にて、「猪名川町 B&G 海洋センターの指定管理者の指定について」「猪名川町スポーツ施設の指定管理者の指定について」の2議案が提出されました。そこで今号では、町内のスポーツ施設について考えたいと思います。
猪名川町地域振興部の倉部長に話を伺いました。



Q. 今回指定した事業者が管理する施設には、どのようなスポーツ施設がありますか。

A. 屋内25mプールや幼児用プール、多目的室などのある猪名川町B&G海洋センターと、体育館・多目的室・ミーティングルーム・トレーニングルーム・グラウンド・テニスコートなどのあるスポーツセンター、うぐいす池公園と登り尾公園のテニスコートがあります。

Q. 指定管理者が行うサービスで、住民に広く知ってほしい事はありますか。

A. スポーツや健康づくりの指導に専門性の高い指導員を配置し、子どもから高齢者まで生涯にわたりスポーツ活動を楽しみながら交流し、『カラダとココロの健康づくり』を体感しながら、毎日元気にイキイキと暮らせるよう、地域に根差した多種多様な生涯スポーツ推進プログラムを展開します。

Q. 住民にどのようにスポーツ施設を活用して欲しいですか。

A. あらゆる年齢層の町民が仲間とあたたかく交流し、「気軽に・いつでも・どこでも・安全に」スポーツを楽しむことのできる環境整備を一丁目一番地に、安心してスポーツ活動に親しんで頂けるよう日々取り組んでいます。多くの方がスポーツ施設に、行ってみたい！これからもずっと通いたい！と思うてもらえるように、快適で安心で

きる環境の提供と魅力あふれるプログラムを開催していますので、是非、気軽に施設に来ていただきたいと思っています。

Q. オススメのスポーツ施設はありますか。

A. スポーツセンターでは、多くの皆様が自分にあつた屋内外で楽しむ各種スポーツや、体を鍛えるトレーニング器具も備えています。様々な講座を通じて健康づくり以外にスキルアップや高揚感も得られます。またB&G海洋センターの温水プールの利用者数は、全国の同センター施設107箇所中第5位に入るなど多くの方にご利用いただいております。これからも、多くの方に自分にあつたスポーツ施設をご利用していただければと思います。

Q. 倉部長のスポーツの楽しみ方を教えてください。

A. 中学・高校と部活でバレーボールをやっていました。すごく上手いわけではありませんが、今も職場の皆でバレーボールを楽しみながら汗を流しております。最近は加入者が少なく少人数ですが、あとは、ゴルフを少し、下手ですが体を動かしてストレスを発散しています。

あなたのスポーツの楽しみ方は？

久しぶりに白金まち協のモルックに参加しました。狙いが決まるたびに歓声が上がって、大盛り上がりしました！機会があればまた参加したいと思います。

サイクリングやトレイルラン、キャンプ、一庫ダムでSUPと猪名川町の里山の景色、自然を楽しんでいます。



加藤議員

車議員

あなたのスポーツの楽しみ方は？

昔はスイミングとサッカーの指導員。今も体を動かす人の笑顔を見るのが、私のスポーツの楽しみ方です。

学生時代は水泳部でした。中谷中学校のプールサイドのペンキが赤色で、いつも白い靴下が赤色になっていました。今は子どものバスケの応援を楽しんでいます。



井戸議員

岩本議員

各施設の
詳細はこちら



審議結果
※賛否が分かれたもののみ掲載

議案名等	会派														議長										
	日本維新の会	公明党	いながわ未来	希望の会	ふるさといながわ	清流会	フォレスト	丸山	加藤	横山	小林	阪本ひろ子	中井	山田		岩木	井戸	山下	吉尾	車	福井	宮東	福井	山下	丸山
12月定例会 議案第63号 令和7年度猪名川町一般会計補正予算(第5号)	○	欠	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号修正案 令和7年度猪名川町一般会計補正予算(第5号)に対する修正動議	●	欠	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号 農産物販売センター、加工・地域食材供給室及び地域農業情報センターの指定管理者の指定について	○	欠	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 ※議長は採決に加わらないため「-」で表示。

03 議案第82号 令和7年度猪名川町一般会計補正予算(第6号)

原案可決

国の総合経済対策により、各地方自治体に配分される物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した水道料金の減免と、0歳から18歳までの子ども1人あたりに一律2万円を給付する物価高対応子育て応援手当事業補助金等で2億3,024万1千円を追加補正。

主な質疑

Q 物価高対策として水道料金の減免を選択した理由は。

A 迅速に住民に支援を行き渡らせるよう国からの指示があり、国の推奨メニューの中で年内に予算化が可能で過去にも実績がある水道料金の減免を実施することにした。

Q 水道料金は口座振替が多く、物価高対策の実感が薄いのではないかと。おこめ券や商品券などのわかりやすい方法を選ばなかった理由は。

A おこめ券などは手数料がかかることや、町内には生産農家もあることから適さないと判断した。水道料金減免が最も公平で住民や事業者を支援できる。

Q 物価高対応子育て応援手当の支給時期は決まっているのか。

A 年明け2月ごろの支給を予定している。

Q 物価高対応子育て応援手当を受け取るのに手続きは必要か。

A 原則、申請は不要。案内後約2週間、不要や辞退の意思がなければ児童手当口座などへ振り込む予定。基準日は7年9月末であるが、基準日以降、8年3月末までに出生した場合も対象となり、その場合は申請書の提出が必要となる。

04 議案第79号 猪名川町 B&G 海洋センターの指定管理者の指定について

原案可決

指定管理者：尼崎市スポーツ振興事業団・イオンディライト共同体 指定期間：8年4月1日～13年3月31日

05 議案第80号 猪名川町スポーツ施設の指定管理者の指定について

原案可決

指定管理者：尼崎市スポーツ振興事業団・イオンディライト共同体 指定期間：8年4月1日～13年3月31日
対象施設：スポーツセンター、うぐいす池公園テニスコート、登り尾公園テニスコート

あなたのスポーツの楽しみ方は？

運動オンチの私は自転車に乗ることが唯一のスポーツです。しかも電動。今日も愛車のチャリ子とともに、しっかりヘルメットを被り猪名川町を駆け回っています。

阪本議員

Pick Up!! まちのアレコレ、どうなっている？

おもな審議結果を解説

第429回定例会は、12月4日から17日までの14日間開会し、提出された21議案について慎重に審議しました。今号ではその中から5つの議案を解説します。

下記の二次元コードから本会議の録画配信、議案審議の結果を公開中



12/10 本会議 12/17 本会議 議案審議の結果

01 議案第63号 令和7年度猪名川町一般会計補正予算(第5号)

原案可決

〈補正予算の主な内容〉

- 旧六瀬中学校跡地活用事業補助金
- こども医療費助成
- いじめ防止対策推進事業費
- 南田原町有地の測量費 ほか

主な質疑

Q 南田原の町有地に係る実施設計委託料を補正予算に計上しているが、住民訴訟が係争中にもかかわらず事業を進めるのか。また、今補正予算で対応する理由は何か。

A 分筆取得した土地の境界部分は、速やかな機能回復が必要であった。事業凍結や住民訴訟により対応を見送ってきたが、県の是正指導を受け、地権者への影響を考慮し早期対応が必要と判断した。春の作付け前に測量を行う必要があるため補正予算に計上し、実施設計は判決内容を踏まえ柔軟に対応する考えである。

反対討論

山下隆志議員

南田原町有地の測量費は、住民訴訟が係争中で土地の帰属や法的評価が確定していない段階で計上されており、勝訴を前提とした公金支出は適切とは言えない。3か月後に第1審判決が予定されている以上、その判断を踏まえて対応すべきであり、現時点での執行には反対する。

賛成討論

加藤郁子議員

本補正予算は、南田原町有地の機能回復、企業版ふるさと納税を活用した教育支援、障害者福祉施策など、町民生活に直結する事業を適切に措置するものである。限られた財源の中で必要最小限の補正にとどめており、町民福祉の向上と安定した町政運営に資することから賛成する。

修正案 議案第63号 令和7年度猪名川町一般会計補正予算(第5号)に係る修正動議

修正案 否決

猪名川町一般会計補正予算(第5号)のうち、南田原町有地の機能回復のための測量費696万3千円を削除する修正動議を議員が提出。

反対討論

井戸真樹議員

南田原町有地内では、分筆に伴う水路整備が行われず、地権者が長年作付けできない状況が続いてきた。本補正で実施設計を進めることは、県からの是正勧告への対応であり、農業者の営農再開に向けても時期を逸することはできない。

賛成討論

山田京子議員

本修正案は、南田原町有地の機能回復工事に係る実施設計委託料を削除するものである。本件は当初、PFI事業者負担を前提としており、用地取得の経緯や議会への説明にも課題があった。道の駅移転が凍結され、住民訴訟が係争中である現段階で実施設計費を計上することには賛同できない。

02 議案第78号 農産物販売センター、加工・地域食材供給室及び地域農業情報センターの指定管理者の指定について

原案可決

指定管理者：株式会社いながわフレッシュパーク 指定期間：8年4月1日～13年3月31日

反対討論

山田京子議員

本施設の指定管理者を非公募とすることには理解できない。公募により事業者が施設の目的に向き合い、より良い提案を行う機会が生まれ、利用者の利益につながる。非公募が続けば競争原理が働かず、運営の固定化や改善意欲の低下を招くことから、非公募による指定管理者の指定には賛成できない。

賛成討論

宮東豊一議員

いながわフレッシュパークは、町・J.A・商工会が出資する第3セクターとして安定した運営実績があり、農業振興や地域産業に貢献してきた。出荷手数料も他の道の駅と比べて低く、生産者の負担軽減につながっていることから、指定管理者として指定することに賛成する。

あなたのスポーツの楽しみ方は？

月1回、福祉関連の仲間と集まりフットサル。観るのも大好きで、日本代表戦は3度の飯よりも最優先。W杯が待ち遠しい！

小林議員




持続可能な生活圏域

ふくい かずお
福井 和夫 (清流会)




学校のグラウンド除草

やました おさむ
山下 修 (希望の会)




福祉に優しいまちに

さかもと こ
阪本 ひろ子 (公明党)



総合公園の活用を

こばやし おきと
小林 興登 (日本維新の会)



旧JA六瀬支店・ふらっと六瀬の連携活用は

事業用物件情報登録制度へ登録を促す

旧JA六瀬支店跡地について、シルバー人材センター・教育支援センターの移転先とすることや、国際交流センターなどの事業も北部活性化の一つの方策と考えるが、町として北部地域を持続可能な生活圏域としていくために、どのように取り組んでいくのか。

シルバー人材センター・教育支援センターの移転先としては、立地などの観点から現実的ではないと判断している。国際交流センターについては設置のニーズは把握していない。北部活性化については、ふるさと納税に「(仮称)六瀬ほしのさと小学校」を中心とした北部地域を応援する項目を新たに追加するとともに、事業用物件情報登録制度に旧JA六瀬支店の登録を促し、地域活性化の一助を担ってほしいと考えている。



旧JA六瀬支店の跡地活用は

ゆうあいセンターの活用説明は

町ホームページ等で周知

シルバー人材センター・教育支援センターの移転先に関する住民説明会の開催は予定しているのか。また、改修事業費と町費負担額はいくらか。

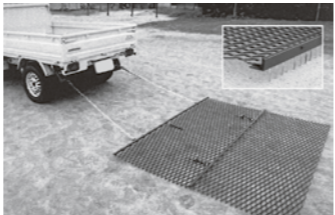
シルバー人材センター移転については、法人自らが会員へ説明を行う。教育支援センターについては、住民説明会の開催は予定しておらず、町ホームページなどで情報提供を行う。改修事業費は基本設計の段階で約12億5千万円であり、3億円弱が交付税算入されることから、町の実質的な負担は9億円程度となる。

【その他の質問】 県立特別支援学校への通学支援は

除草機を配備し学校に貸し出しては

グラウンド整備の専門家が考案した、軽トラック牽引の除草機がある。軽トラックで引くことで、草を根こそぎ除草できるというものである。町の備品としてグラウンド整備に貸し出してはどうか。

運動場は、児童生徒数の減少や酷暑により、雑草が繁茂しやすい環境となっており、除草作業において、保護者や地域ボランティアに大きな負担をかけている。現在、手押しタイプの自走式草刈り機を導入し、各校園へ貸し出すことを検討しているが、軽トラック牽引の用具についても、購入の可能性を今後見定めたい。



軽トラック牽引の除草機

町のクマ対策は

全国でクマ被害が多発しているが、県では20年前からクマ管理が行われており、クマ対策に成功している都道府県と評価されている。現時点で、県および町を含む周辺地でのクマ被害の実態は。

7年9月に開催された第1回兵庫県ツキノワグマ対策会議の資料によると、7年度のクマによる人身被害は1件であり、6年度の2件から減少している状況である。しかし、近隣地域で出没が確認されているため、引き続き注意が必要である。

クマを寄せ付けないことが重要と言われている。人里周辺の森林を整備し伐採を行い、緩衝帯(バッファゾーン)を整備する対策は。

住宅周辺のやぶを刈り払い、視界を確保することは、クマと人の生活圏を分けるうえで効果的である。国のクマ被害対策パッケージには、緩衝帯の整備や、放任果樹など誘引物の管理に対する支援を速やかに行うことが示されている。支援制度が具体化されれば、取り組みやすい環境が整うと考えられる。町としても、今後の国の動向を注視しながら、住民の安全を守るために必要な対応を検討していく。

「ユマニチュード」普及の考えは

認知症の人の尊厳を守る介護の技法として「ユマニチュード」は、見る・話す・触れる・立つの4つの柱で、相手を大切に思っていることが伝わる接し方である。この技法を身につけることで、認知症のある人の症状は軽減し、介護者の負担も軽くなるとされている。「ユマニチュード」の普及に取り組む考えはあるか。



ユマニチュードの基本「4つの柱」

研修や講座を通じて「ユマニチュード」の考え方を広め、医療や介護の現場だけでなく、家庭や地域においても、認知症の人を尊重して支え合える環境づくりを目指す。

スケッターで福祉に優しいまちへ

福祉業界の人手不足は深刻である。スケッターとは、空き時間を活用し、資格や経験がなくてもできる軽作業について、介護施設などを支援したい地域住民(有償ボランティア)と介護施設をつなぐマッチングサービスである。福祉に優しいまちづくりをキャッチフレーズに、スケッターを活用した新たな取り組みを開始しては。

現時点では、スケッターに対する介護事業者からの需要や担い手について不透明な点も多く、活用については今後の動向を注視して検討したい。

県営住宅を活用した地域づくりを

県営住宅の空き部屋は26戸ある。入り口に看板設置などを県に要望し、町が管理すべき周辺樹木のせん定や側溝清掃などを行うことで、今ある住宅資源を有効活用し、活気あふれる地域づくりに取り組んではどうか。

可能な範囲で樹木を伐採するなどの対応を検討する。県営住宅が町にとって貴重な住宅資源であると認識し、効果的な広報について、県と連携し情報発信に努める。

民間イベントから見た公園の可能性は

総合公園で実施された民間主体の「いながわマルシェ」を通じ、町としてどのような活用の可能性を感じたか。

広場・展望台・駐車場など多様な場所で人の交流が生まれ、公園が人と人をつなぐ場として機能したと評価している。これまで活用が少なかった場所も利用され、来場者同士や出店者同士のつながりが生まれたことから、公園の新たな使われ方が示されたと認識している。

民間事業者から公園を活用したいという声が出ているが、町はどのように受け止めているか。

民間主体による前向きな声は、公園の魅力向上につながるものとして心強く受け止めている。一方で、安全対策や周辺施設との調整、利用ルールの整理などが必要であり、慎重に検討すべき課題があるとの認識である。



ふれあい公園(総合公園)でのイベント

制度を活かした定住促進の検証は

子育て住宅総合支援事業の初年度の応募状況をどのように評価し、今後どのように活かすか。

本事業は、子育て世帯などが子育て住宅促進区域で住宅を取得する際、新築や中古住宅に対し補助を行う制度である。初年度は募集上限の約半数の応募であったが、本事業をきっかけとした転入が見られ、一定の効果があつたと評価している。今後は制度の認知度向上と実績の積み重ねを図り、子育て世帯の定住促進につなげていく考えである。

ひとくちメモ

子育て住宅促進区域とは
住まいや住環境が充実している又は充実させようとしている地域について、市町の申出を受け県が指定するもの。猪名川町では、日生ニュータウン、猪名川パークタウン、つつじが丘住宅地が指定されている。

あなたのスポーツの楽しみ方は？

子どもの野球チーム保護者でソフトボールにも挑戦。高校時代は毎日壁打ちで腕を磨く。体を動かすのが昔から好きです。

会社員時代(30歳)にゴルフを始め、夢中になり一時は1年間で50回もプレー。自宅には雨具等の在庫がたくさん。回数は激減したが今もプレーを楽しんでいます。



福井和夫議員



福井和夫議員

あなたのスポーツの楽しみ方は？

中高はソフトテニス部に。息子と40年ぶりにラリー。足は動かず苦戦も、ボールを打ち返す爽快感は今も忘れられません。

「いながわ100万歩チャレンジ」を第1回目から継続して参加。身近なところをウォーキングして日々記録すると、歩くことが楽しくなってきました。



中井議員



福井和夫議員

物価高対策

なか い とも こ
中井 智子 (公明党)

河川安全対策

くるま ひろし
車 宏 (ふるさといながわ)

行政の説明のあり方は

やま だ きょう こ
山田 京子 (いながわ未来)

総合福祉センター改修

やました たかし
山下 隆志 (フォレスト)

**国の交付金活用による物価高支援は
即効性・公平性のある支援を実施**

Q 食料品や光熱費の高騰が続く中、国が重点支援地方交付金を2兆円規模に拡充した。町として国の動きをどのように受け止め、補正予算成立前からどのような情報収集や検討を進めているのか。また、物価高が町民生活に与える影響をどのように認識しているか。

A 国が大規模かつ迅速な対応を自治体に求めているものと受け止めている。特に食料品や光熱費の価格上昇は、日常生活に直結し、町民生活全体に大きな影響を与えていると認識している。このため、国や阪神間自治体との情報共有を行いながら、町の実情に即した効果的な支援事業の検討を進めている。

ひとくちメモ
重点支援地方交付金とは
物価高対策などを目的に、国が自治体へ配分する財源。地方公共団体が地域の実情に応じて柔軟に活用できる。

Q 即効性と公平性のある支援として、水道料金減免を含む施策をどの時点で実施するか。



A 水道料金減免は申請が不要で、事務負担が比較的少なく、幅広い世帯に公平に支援できる施策である。国の推奨事業でもあることから、町としては補正予算を上程し、準備が整い次第、速やかに実施する考えである。

Q 全国でクマの出没が相次ぐ中、町としての現状認識と今後の対策は。

A 県の調査では、町周辺のクマ出没リスクは6年度より低いとされているが、ゼロではないと認識している。引き続き国・県・関係機関と連携し、住民への注意喚起や情報発信、体制整備を着実に進めるとともに、状況の変化に応じて柔軟に対応する。

豪雨増加を踏まえた河川管理は

Q 町内では近年、短時間に集中する豪雨の増加により、河川内の土砂や流木の堆積（たいせき）が進み、流下能力の低下や氾濫の危険性が高まっている。町の地域防災計画では堆積物の除去を進めているが、その具体的な進捗として、6年度・7年度に実施した除去作業の数や規模、未対応となっている場所の現状は。

A 町が管理する河川は56河川である。このうち6年度は2河川において、延長204mの土砂撤去と倒木1本を除去した。7年度は猪名川で倒木2本を撤去しており、今後は4河川で延長666mの土砂撤去を実施する予定である。

Q 堆積物は除去しても再びたまりやすく、単発的な対応では安全確保が難しい。今後、定期的な除去作業を継続するうえで、町として財政面をどのように考えているか。

A 町内河川は自然形成の部分が多く、地形変化が大きいため、計画的な一律除去は難しい。このため、過去の浸水実績や自治会からの要望を踏まえ、必要に応じた除去を基本としている。財源については、国の緊急浸漬（しゅんせつ）推進事業債を活用して対応している。

Q 柏梨田・上野地区では、豪雨のたびに河川の氾濫が繰り返されている。抜本的な安全対策として、河川改修に関する県との協議状況は。

A 県により、これまで護岸のかさ上げや河道拡幅、支障木の伐採や土砂撤去が実施されてきた。7年度も土砂撤去などの対策が予定されており、町としては今後も県に対し、継続的な洪水対策を要望していく考えである。



猪名川の河川状況

【その他の質問】
・行政窓口業務の効率化・DX化
・林野火災対策について

Q 敬老祝い品の廃止や福祉金減額の周知が不十分ではないか。福祉金は9月議会後「丁寧に説明する」としていたが、結果として決定通知のみとなった。説明不足は行政への信頼低下につながると考えるが、その経緯と町の姿勢は。

A 敬老祝い品事業は2年間の試行であり、7年度は実施しないことを広報で案内することも検討したが「配布しないことのみを周知する」ことは課題があると判断し、HPへの掲載のみにとどめた。福祉金については、対象者への決定通知、関係団体への周知、広報・HPでの掲載を行ったが、十分でなかった点は反省している。議会決定後では周知時期が遅れるため、今後は方針段階での情報発信を行い、広報やSNSを活用して説明を強化する。

Q いなぼう Pay は登録が難しく、高齢者や非対応端末を使用している住民が取り残されたが、改善が必要ではないか。

A いなぼう Pay は、本人確認のためマイナンバーカードとの連携を採用した結果、非対応端末を使用している住民が参加できなかったことは認識している。今後、同様の事業を行う際は、より多くの住民が利用できる手法を検討する。

Q 町が推進する事業であるにもかかわらず、道の駅いながわでいなぼう Pay が使用できないのは、一貫性に欠けるのではないか。

A はばたん Pay 導入時にレジが混雑し、農産物販売の運用が難しいと判断し、導入を見送った経緯がある。住民の利用が多い施設であるため、次回以降は、店舗側の負担を軽減できる方法を検討し、利用可能となるよう協議する。



いなぼう Pay 啓発ポスター

**高額改修の判断基準と優先理由は
計画と評価に基づき総合判断**

Q 総合福祉センターは、比較的新しい施設であるにもかかわらず、約12億5千万円をかけて最優先で改修する理由と、その判断基準をどう考えているか。

A 公共施設マネジメント基本方針において、老朽化度・公共性・利用状況・将来需要などを総合的に評価した結果、要検討施設と位置づけた。総合福祉センターは7年度に築30年を迎え、設備更新や機能維持の観点から大規模改修が必要な時期に当たる。施設のあり方検討を行ったうえで、改修が妥当と判断した。

ひとくちメモ
公共施設マネジメント基本方針とは
施設の更新・長寿命化・統廃合を計画的に進めるための町の指針。

Q 子ども数が急減する中、今後の教育施設はどのように維持・再編していくのか。

A 公共施設マネジメント基本方針に基づき、教育施設についても施設総量の最適化と有効活用を進める考えである。7年度から学校園あり方検討委員会を設置し、将来の児童生徒数や地域の実情を踏まえながら、学校配置や施設規模のあり方について検討を行っている。

Q 改修後の総合福祉センターは、引き続き社会福祉協議会が運営するのか。

A 改修後は指定管理者制度を活用し、公募により運営事業者を選定する方針である。社会福祉協議会も応募可能であり、選定されない場合でも、町は地域福祉の中核的な担い手として引き続き連携と支援を行う。

ひとくちメモ
指定管理者制度とは
公共施設の管理運営を民間事業者などに委ねる制度。



総合福祉センター (出典：猪名川町 HP)

歳入増への取り組みは

よし お ゆたか
吉尾 豊 (ふるさといながわ)



短期的な歳入の増加の取り組みは



Q 短期で新たな歳入の増加に向けた取り組みや施策は考えているか。

A 現在、検討している状況である。大規模町有地への企業誘致に取り組んでいるが、税込増につながるまでには時間がかかると見込んでいる。今後、町税などの自主財源が増加する可能性はあるものの、それ以上に歳入の増加も見込まれるため、基金残高は減少傾向をたどるものと予測している。



町の歳入増の取り組みは

国や県からの照会業務の負担は

Q 照会業務が町職員の負担となっているのではありませんか。国や県から町に送られてくる照会や調査などの件数の推移は。要点や意図が分からない内容はあるか。

A 通知文書なども含めた電子メールの受信件数は、5年度は48,357件、6年度は50,343件、7年度は4月から10月までの7カ月間で34,295件である。7年度は、6年度同時期と比べ18%増であり、5年度同時期と比べ21%増である。依頼の目的や活用方法が明確でないものや、概要資料が添付されておらず内容や目的がすぐに把握できないものも見受けられる。こうしたケースは、業務負担が大きくなる要因となっている。また提出期限までの期間が短く対応に苦慮することもある。

不正が発生した場合の再発防止策は

Q 不正や不祥事が起きた場合の再発防止策について、全庁的な管理体制の強化をどのように進めていくのか。

A 継続的な職員教育が不可欠であり、こうした取り組みを通じて、組織全体としての体制を整え、問題の根本的な解決につなげていくことが重要であると考えている。

公共交通とクマ対策は

いわ き けい
岩木 慶 (いながわ未来)



地域公共交通計画の現時点の評価は



Q 猪名川町地域公共交通計画は4年度から12年度までの計画である。中間時点である現在の利用促進・利便性向上・持続可能な運行体制という目標に対する評価と、評価するためのKPIは何か。

A 本計画は、広域基幹交通・町内基幹交通・生活交通の3層で公共交通網を構築するものである。6年10月に阪急バス杉生線の運行継続と、ふれあいバス・チョイソコいながわの再編を行った。町内に交通空白地帯はなく、計画は着実に進んでいる。KPIは設定していないが、OD調査などで実態把握を行っている。

ひとくちメモ

KPIとは
達成度を確認する指標

OD調査とは
乗車地と降車地を調べる調査



町内の移動を支える
ふれあいバス

住民1人あたりの財政負担の推移は

Q 公共交通は生活インフラであるが、町の財政負担は増加している。6年度の支出状況と、ここ数年の住民1人当たり負担額の推移をどのように捉えているか。

A 6年度の公共交通関連支出は7,973万5,000円である。住民1人当たりの負担額は、4年度1,713円、5年度2,192円、6年度2,800円と増加している。要因は、5年度から阪急バス杉生線の維持補助を開始したことである。

クマの出没状況は

Q 町内でクマの目撃情報があり、住民の不安がある。現在の出没状況と町の認識はどうか。

A 7年度は、クマ本体や痕跡の確認はされていない。県の調査では、餌資源が豊作で、出没リスクは6年度より低いとされている。ただし、ゼロではないため、国・県・関係機関と連携し備えを進める。

あなたのスポーツの楽しみ方は？

過去10年でスポーツクラブの入退会を何度繰り返したことが... 1年以上通いつける人を本気で尊敬します。私もいつかその境地に到達したい！笑

スポーツは苦手な観戦者のみ。中でも土俵で力士が化粧まわしを付け、輪になってまわしを少し持ち上げる一連の流れを見るのが子どもの頃からの楽しみです。

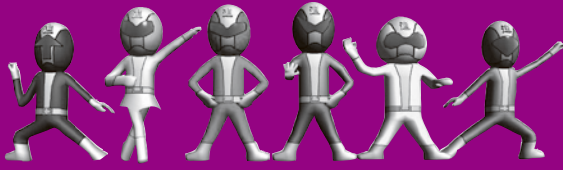


山下隆志議員



山田議員

いながわ追跡調査隊 追うレンジャー



過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査した。第45回のミッションは、次の質問のその後だ!!

現在

電子回覧板は町内49の自治会すべてに説明を行い、システムの配布を終えている。運用は各自治会が検討しそれぞれに工夫して使っているが、すでにクマ出沒の注意喚起や、地域の行事案内などで電子回覧板を運用している事例もある。行政としては、災害時の情報伝達の方法ともなるため引き続き普及に努めるとともに、電子回覧板としてより使いやすい方法など情報提供していく。



電子回覧板への検討は



質問

5年12月定例会

自治会の高齢化や役員不足により、回覧板や会費徴収などの運営が従来の方法では負担になりつつある。町主体でデジタル回覧板を導入する考えはあるか。

答弁

デジタル回覧板は自治会活動の維持に大切なツールとなりうると考えているが、高齢者など情報弱者へのフォローや費用負担など検討課題もある。先行導入した自治体の動向を研究し検討する。



議員研修会を開催

11月27日(木)

議員研修会を本庁3階委員会室で開催しました。自治体議会研究所代表高沖秀宣氏を講師に、「議員定数について」「効果的な一般質問の仕方」の2つのテーマを学びました。議員定数の考え方や議会のあり方、執行機関と建設的に政策の議論ができるような一般質問の方法を学びました。

沼津市議会会派視察来町

12月16日(火)

静岡県沼津市議会の会派視察を受け入れました。視察テーマは「災害用キッチンカーについて」。本庁3階委員会室で説明の後、道の駅いながわに移動し現車を見てもらいました。災害用キッチンカーは「新しい地方経済・生活環境創生交付金」を活用して導入したもので、ライフラインが止まっても、温かい食事の提供が可能で、機動力が高く必要な場所にすぐ出動できます。また、平時には町イベントへの出店や道の駅での運用が予定されております。



あなたのスポーツの楽しみ方は？



子どもの頃から見るのもするのも大好きです。バスケット、フットサルは今でも定期的に集まっています。



やったことの無いスポーツも機会があればガンガン参加してみる。ラッキーで良い成績を残したり、ハマる事もある。結果、楽しいことばかり。

いながわ里山猪道 トレイルラン大会に想う

大島小学校区まちづくり協議会 会長 奥村 一夫



町制60周年を記念して町主催で始まったこの大会は、令和8年5月には10回目の節目を迎えます。大島小学校から猪名川町最北端の大野山までを走破する20キロのコースは、雄大な自然と起伏の激しい山道が続き、決して容易ではありませんが、それがこのトレイルランならではの魅力となっております。初心者や子ども向けの2〜3キロのファミリーコースも設けられ、町の一大行事として親しまれてきました。全国の人気ランキングでも上位に入り、参加者は毎回約300名、地域も関東から沖縄まで広がっています。参加選手は地元小学生による大島太鼓や横断幕を掲げた住民の温かな声援の中ゴールをめざします。ゴール後は地元ならではの食材を使っ

た豚汁などいづくしのおもてなしが用意されています。参加賞の地元米も好評です。これまで積み上げてきた継続の力が大島まちづくり協議会ならではの大会とみなさまから評価されています。

現在は約150名のボランティアが支えており、今後はスタッフの負担を減らしつつ、より楽しく継続していくことが課題となっております。



いながわ里山猪道トレイルラン大会
(7年5月開催)

3月定例会

日	月	火	水	木	金	土
2/8	9	10	11	12 議会運営委員会	13	14
15	16	17	18 第430回定例会 本会議第1日 議会広報特別委員会	19 総務建設常任委員会	20 生活文教常任委員会	21
22	23	24	25	26	27 本会議第2日	28
3/1	2	3 本会議第3日	4 総務建設常任委員会	5 総務建設常任委員会	6 総務建設常任委員会	7
8	9 生活文教常任委員会	10 生活文教常任委員会	11 生活文教常任委員会	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 本会議第4日 議会運営委員会	24	25	26	27	28

※議事の都合により変更となる場合があります

傍聴方法

受付場所：本庁舎3階 議会事務局

- ①傍聴者名簿に住所・名前を記入
- ②傍聴券を受け取り入場

※入退場自由/定員 本会議 20人、委員会 10人

会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬総合センターで閲覧できます。また、ホームページからも本会議、各常任委員会の会議録をご覧になれます。



まちかどワンショット



久し振りの親子時間



つつじが丘から望む初日の出

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

この広報紙は12,000部作成し、一部あたりの単価は32.12円です。